

天の金の鉢

(なぜ、待たされるのか 2)

救いのための祈り⑤

ヨハネの黙示録 5:8

ヨハネの黙示録 8:3~5

聖書の「ヨハネの黙示録」は、使徒ヨハネが激しい迫害の最中、島流しになった島で「キリストの再臨」の幻を見せられ、神様から後の人々のために書き残すように命じられた書です。特別なこの書は、人には分からないように伏せられている部分の多い、預言の書です。しかしそれと共に、「天国の神様の御前」の状況も記されています。

ここから、私たちの祈りを聞いて下さる神様が、「祈り」をその後どのように扱われるのかが分かります。「祈り」とは、人間が神様に向かって好きな事を言って、その言葉が終われば消えて無くなってしまふものではありません。「祈り」は神の御国にある金の鉢に少しずつ貯められ、神様の水準に達したとき、神様は大きな御業をして下さるのです。

私たちが教団の本部事務所で主事の働きをしていたとき、すぐ裏に2DK8室のアパート1棟が建っていました。高齢の先生方や宣教師のためにレストホームの必要を感じて、そのアパートが与えられるように職員の婦人と毎日祈り始めました。心を合わせて一年程祈る間、なぜか入居者が次々と引っ越し、いつの間にか全室空き家になりました。時を感じて持ち主に交渉すると、トントン拍子に事は進み、日本イエス・キリスト教団はレストホームを購入できたのです。

必ず祈りは応えられるという信仰と祈りは、それぞれの金の鉢に貯められ、神様の前に献げられ、神様がOKを出された時、応えられるのではないのでしょうか。

聖書の学び

I、天に貯められる祈り

1、使徒ヨハネは天国の門に入り、神の御座の様子を見ました。

①御座についておられる方の持つておられる巻物とは何でしょうか？(黙示5:7)

幾つかの説

| | | | |
|---|---------------------------------|---|-----------------|
| 【 | ・地検書・権利書のようなもの… 全世界は神様から貸し出された | 】 | 七つの封印が されている |
| | ・いのちの書… 神の国に入ることが許された者の名が記されている | | |

②封印を解いて下さることができる子羊は、どのような方でしょうか？

(黙示5:9)

2、天使や長老が持って来た金の鉢に入った祈りは、子羊キリストの御前にささげられます。(黙示5:8)

①香の満ちた金の鉢 (祈りの事柄によって、鉢の大小は違うのかも…)

・金の鉢→それぞれの祈りに応じた金の鉢に、祈りは貯められている。

・香の満ちた鉢=祈りがいっぱいになるまで待つて、ささげられる。

②香は聖徒たちの祈り→仲保者イエス・キリストの名による祈り (ヨハネ14:14)

II、神の御前に立ち上る祈り (黙示8:3~5)

1、聖徒たちの祈りが神の御前にささげられた後、どうなるのでしょうか。

①御使いは金の香炉に何を満たしましたか？(黙示8:3)

金の鉢に蓄えられ、満ちた聖徒たちの祈り == 香 … この香を、金の香炉に入れる

②金の香炉の煙が神様の御前に立ち上った後、御使いはどうしましたか？(黙示8:5)

祈りがいっぱい入った香炉 + 祭壇の火 → 地に投げつける

③祭壇の火 == 全能の神の火 → 地に投げつける

↓
サタンの支配する所

※霊の世界で起きたことが、目に見える世界に影響を与える。

例として… 使徒16:25:ピリピの牢獄で、パウロとシラスが祈りと賛美をささげていました。その直後起きたことは、大地震と救霊のみわざでした。

2、それでは、祈っても、なかなか応えが与えられないときは、何が不足していると思われますか？

・信仰の量 ・愛の熱量 ・祈りの量